



『いい夫婦の日』
夫婦に関するアンケート調査
調査報告書

〔2022年11月4日〕

「いい夫婦の日」をすすめる会事務局

<https://fufu1122.com/>

一般社団法人 日本メンズファッション協会

■調査概要	P2
■調査結果	P3~P12
■総括	P13

■調査目的

- ・対象者に対し、夫婦としての現状の「気持ち」、「暮らし」、「コミュニケーション」などの実態とともに「いい夫婦の日」の認知などについて把握することを目的とする。

■調査対象者

- ・地域: 全国
- ・性別: 男女
- ・20歳以上の既婚者

■調査方法

- ・インターネット調査
アイブリッジ株式会社が運営するアンケート専門サイト「Freeasy(フリージー)」を用いたWebアンケート方式

■調査期間

- ・2022年8月31日(水)～2022年9月2日(金)

■有効回答数

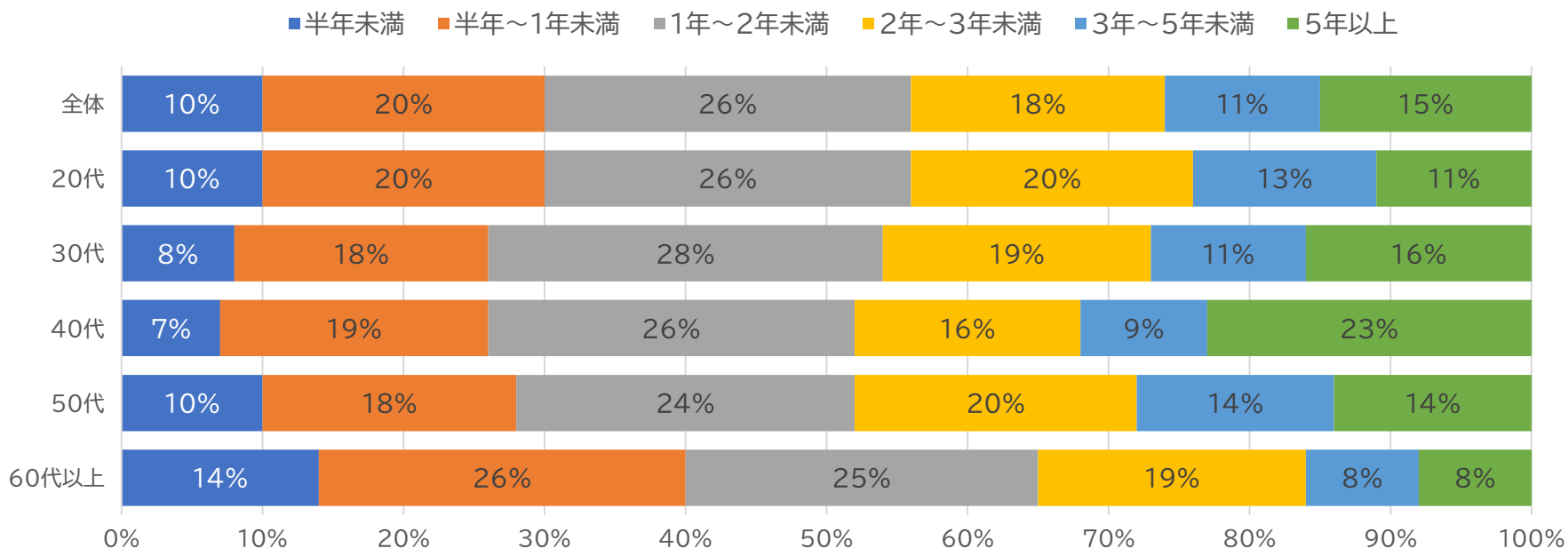
- ・1,000サンプル
- ・内訳
男性:500サンプル 女性:500サンプル
20代:200サンプル 30代:200サンプル 40代:200サンプル 50代:200サンプル 60代以上:200サンプル

調査結果

1. 交際期間 (全数ベース N=1,000 単一回答)

あなたご夫婦は、ご結婚前にどのくらいの間お付き合いされていましたか？(お答えは1つ)

1～2年の交際期間というのが多い。
交際半年未満が20代と60代以上で2ケタを示すのは、20代は結婚斡旋業やマッチングアプリを利用したり、高齢者はお見合い結婚の結果もふくまれているのかも。

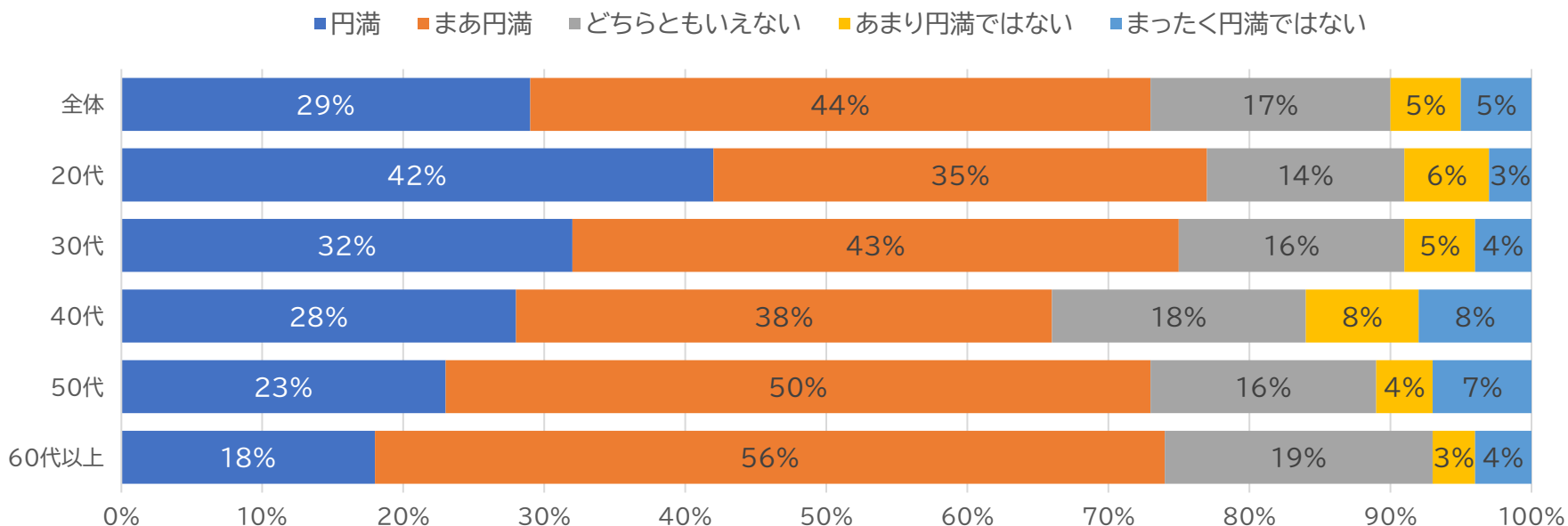


	半年未満	半年～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年以上
全体	10%	20%	26%	18%	11%	15%
20代	10%	20%	26%	20%	13%	11%
30代	8%	18%	28%	19%	11%	16%
40代	7%	19%	26%	16%	9%	23%
50代	10%	18%	24%	20%	14%	14%
60代以上	14%	26%	25%	19%	8%	8%

2. 夫婦仲について (全数ベース N=1,000 単一回答)

夫婦仲は円満だと思いますか？(お答えは1つ)

「円満」は年齢が増すにつれて減少していき、「まあ円満」を合わせれば約7割の人たちが円満だと思っている。40代あたりで「不満」の人たちがやや増加するのが気になるところ。(まさに個人の生涯に合ったように、アツアツの仲で始まり、育児、教育、出世、転職などによるすれ違いや倦怠期が訪れるも、定年、病気、介護、そして妥協、あきらめにより仲を取り戻すといったところか。)

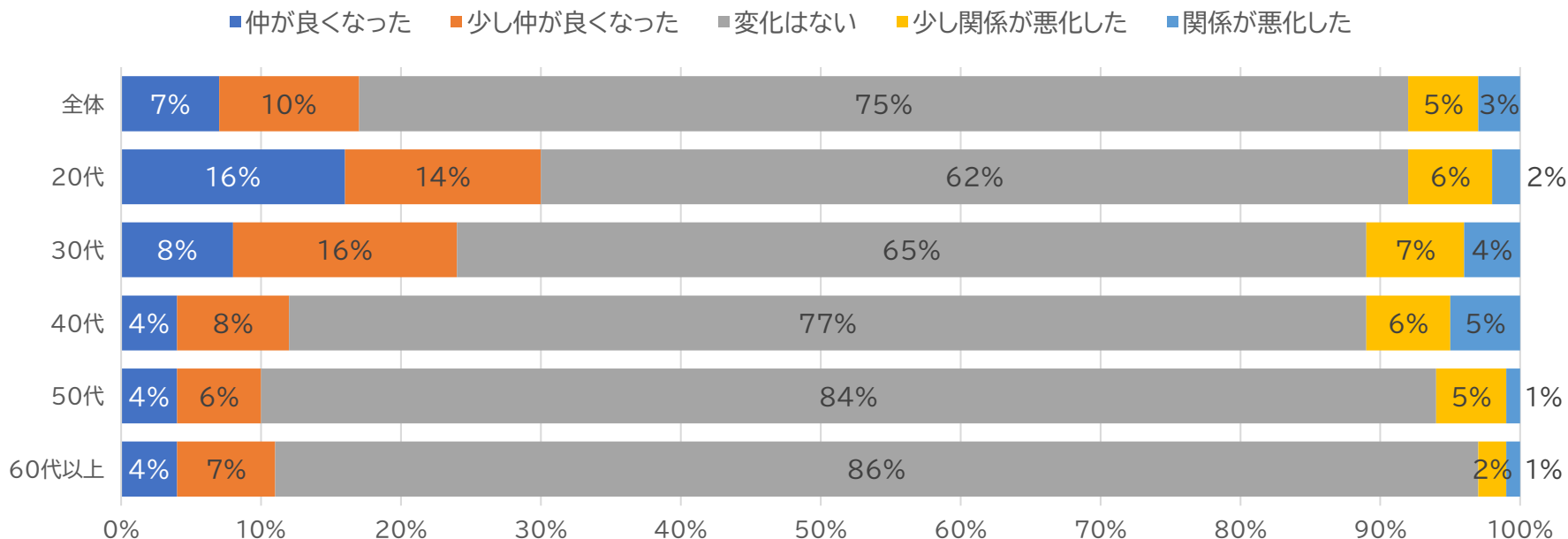


	円満	まあ円満	どちらともいえない	あまり円満ではない	まったく円満ではない
全体	29%	44%	17%	5%	5%
20代	42%	35%	14%	6%	3%
30代	32%	43%	16%	5%	4%
40代	28%	38%	18%	8%	8%
50代	23%	50%	16%	4%	7%
60代以上	18%	56%	19%	3%	4%

3. コロナによる夫婦関係の変化 (全数ベース N=1,000 単一回答)

コロナ禍の影響で、ご夫婦の関係に変化はありましたか？(お答えは1つ)

リモートワーク、残業減少、会食やちよい飲み禁止などによる家庭での時間が増えて仲が良くなったのは、若い人たちに顕著であり、年配者ほど良くも悪くも変化は少ない。
 ちなみに、今年の「いい夫婦川柳コンテスト」の入賞作に「コロナ禍も夫婦元気でミツでいい」(50代・男性)がある。「コロナでも愛は揺るがず変異せず」(60代・男性)という応募作もあったが、これは願望か。

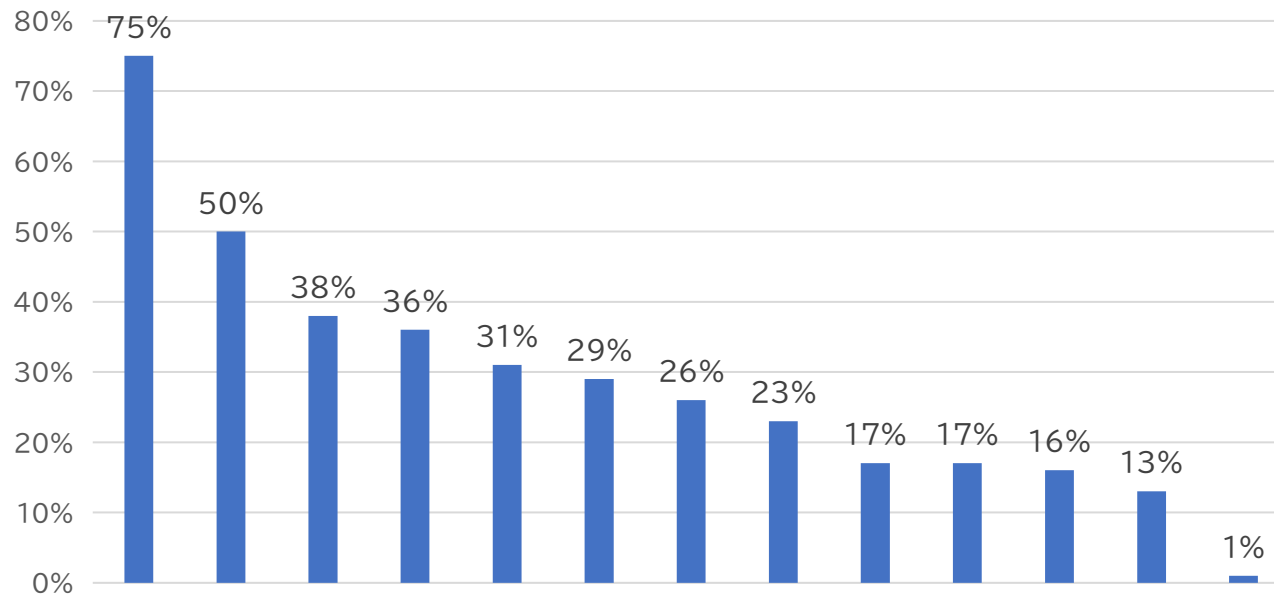


	仲が良くなった	少し仲が良くなった	変化はない	少し関係が悪化した	関係が悪化した
全体	7%	10%	75%	5%	3%
20代	16%	14%	62%	6%	2%
30代	8%	16%	65%	7%	4%
40代	4%	8%	77%	6%	5%
50代	4%	6%	84%	5%	1%
60代以上	4%	7%	86%	2%	1%

4. 夫婦円満に大切だと思うこと (全数ベース N=1,000 複数回答)

夫婦が円満であるために、大切だと思うことは何ですか？(お答えはいくつでも)

複数回答であるが、圧倒的に「話をする」が多く、次に多い「一緒に食事」もやはり会話の大切さをあらわしている。そして、若い世代には「家事の分担」など協働意識が強く、歳をかさねれば「程よい距離感」が大切になってくるのも面白い傾向である。ただ、「信頼する」「我慢しない」「嘘をつかない」「約束を守る」をあげている人が多いのも現実を考えさせられる。

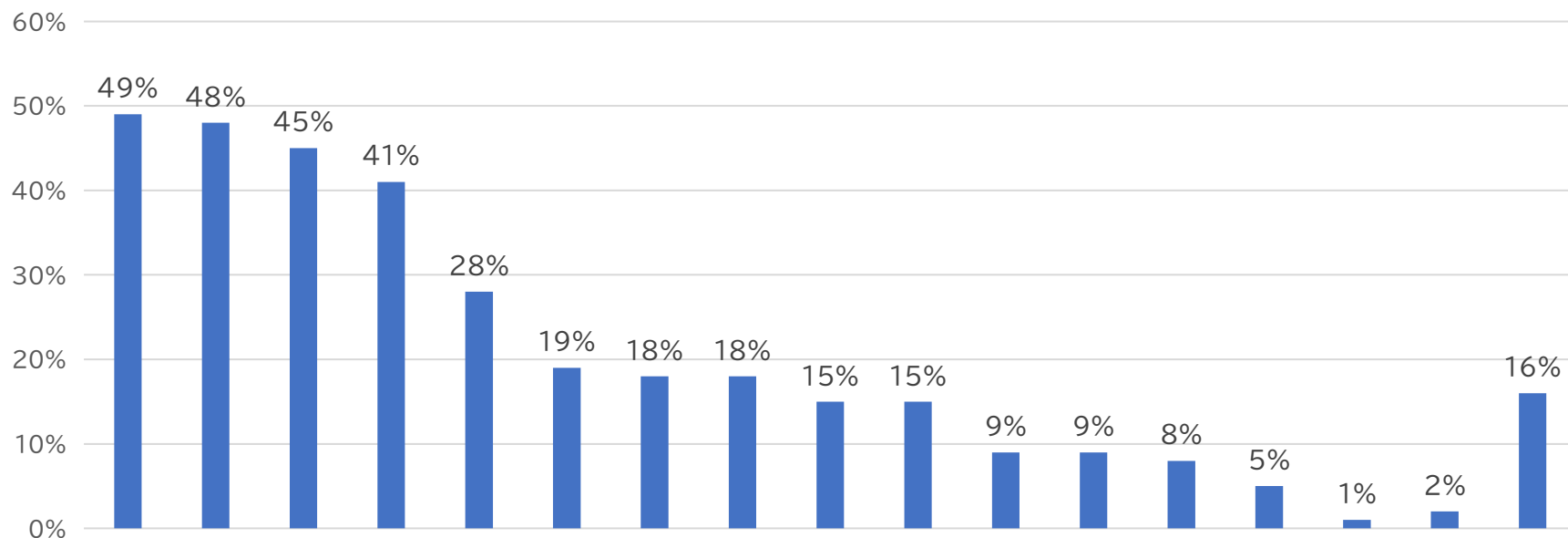


	話をする・聞く	一緒に食事をする	二人で出かける	家事の分担	約束を守る	我慢しない(不満を溜めすぎない)	嘘をつかない	スキンシップ	プライバシーを守る	同じ部屋で寝る	お互いの両親を悪く言わない	一緒に晩酌をする	その他
全体	75%	50%	38%	36%	31%	29%	26%	23%	17%	17%	16%	13%	1%
20代	71%	55%	48%	44%	28%	28%	24%	36%	18%	27%	15%	15%	1%
30代	71%	45%	33%	36%	31%	31%	26%	32%	19%	17%	19%	14%	1%
40代	73%	41%	28%	32%	24%	26%	22%	19%	15%	9%	9%	9%	1%
50代	77%	49%	40%	28%	33%	30%	24%	17%	17%	12%	20%	13%	1%
60代以上	81%	61%	43%	39%	37%	28%	35%	13%	18%	18%	15%	12%	2%

5. 夫婦で一緒にしていること (全数ベース N=1,000 複数回答)

普段ご夫婦で一緒にされていることは何ですか？(お答えはいくつでも)

通常最高位にくる「買い物」「外食」よりも「自宅での食事」が上位になったのは、やはりコロナ禍の影響であろう。「ボウリング、カラオケ」や「ゲーム」が20代・30代に集中しており、「スポーツ」が5%に満たないというのも、若い人たちの遊興が屋外から室内に移行している表れか。

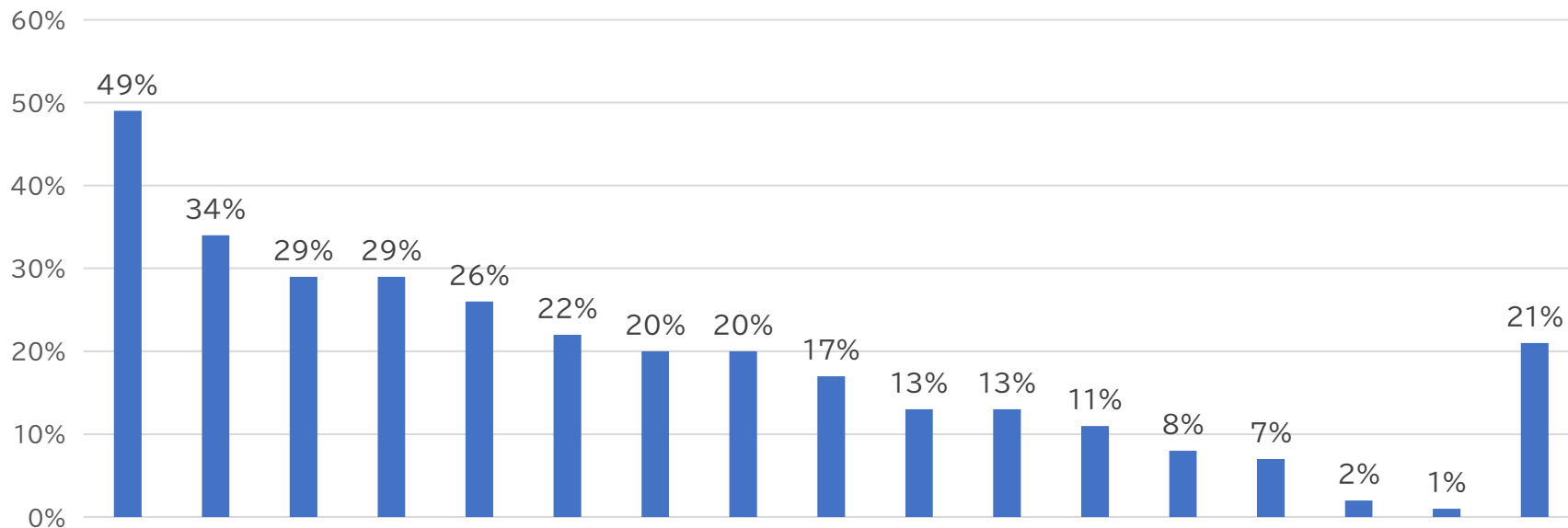


	自宅での食事	買い物	外食	国内旅行	ドライブ	映画・コンサートなどの鑑賞	散歩	料理以外の家事	料理	晩酌	海外旅行	ゲーム	ボウリング・カラオケなどのレジャー	スポーツ	習い事	その他	夫婦で一緒にしていることはない
全体	49%	48%	45%	41%	28%	19%	18%	18%	15%	15%	9%	9%	8%	5%	1%	2%	16%
20代	48%	57%	46%	42%	39%	24%	29%	26%	24%	15%	6%	21%	14%	6%	1%	2%	9%
30代	43%	49%	45%	41%	28%	22%	21%	23%	20%	18%	9%	11%	10%	7%	2%	1%	11%
40代	36%	44%	39%	33%	22%	15%	10%	12%	9%	11%	6%	6%	6%	5%	1%	2%	24%
50代	52%	43%	47%	41%	25%	17%	15%	13%	10%	16%	10%	4%	7%	3%	1%	2%	20%
60代以上	67%	47%	49%	50%	25%	19%	15%	16%	10%	13%	14%	1%	4%	4%	1%	4%	15%

6. 今後夫婦で一緒にしたいこと (全数ベース N=1,000 複数回答)

今後ご夫婦で一緒にしたいことは何ですか？(お答えはいくつでも)

「一緒にしていること」と同様の傾向を示すが、大きな違いは「海外旅行」が3倍近く増えること。コロナ禍、費用が大きなブレーキとなっていると思われる。それにしても、「一緒にしたいことがない」が2割を示すのは問題であろう。

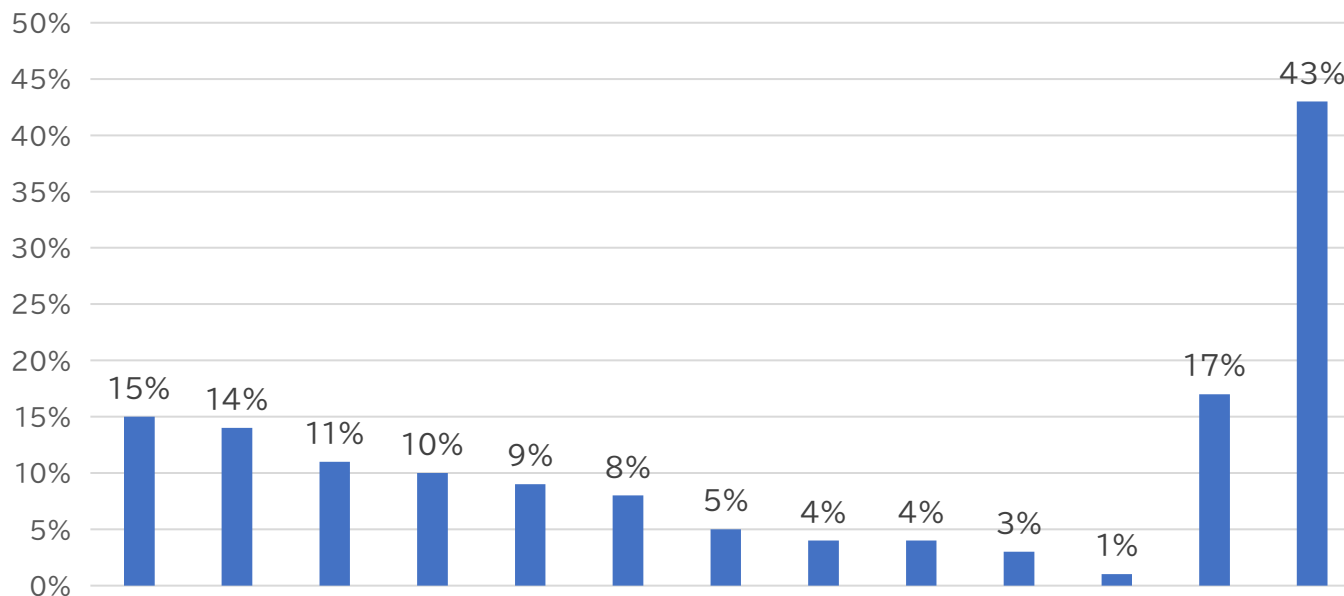


	国内旅行	外食	買い物	自宅での食事	ドライブ	散歩	海外旅行	映画・コンサートなどの鑑賞	料理	晩酌	料理以外の家事	ボウリング・カラオケなどのレジャー	スポーツ	ゲーム	習い事	その他	一緒にしたいことはない
全体	49%	34%	29%	29%	26%	22%	20%	20%	17%	13%	13%	11%	8%	7%	2%	1%	21%
20代	50%	37%	40%	32%	35%	29%	25%	26%	28%	18%	20%	22%	17%	16%	3%	1%	14%
30代	50%	32%	32%	33%	25%	21%	24%	26%	27%	17%	17%	14%	10%	11%	5%	1%	15%
40代	34%	25%	23%	20%	18%	14%	16%	13%	13%	9%	9%	6%	6%	3%	1%	1%	30%
50代	50%	37%	29%	28%	28%	22%	18%	21%	10%	14%	9%	8%	5%	5%	1%	1%	23%
60代以上	60%	37%	23%	31%	24%	23%	21%	17%	8%	8%	9%	4%	4%	1%	2%	2%	22%

7. パートナーから記念日に贈りたいプレゼント (全数ベース N=1,000 複数回答)

「いい夫婦の日」などの記念日にパートナーから贈りたいプレゼントは何ですか？(お答えはいくつでも)

20代・30代で「外食」より「手料理」が上回るのはほのぼの感を漂わせるが、同時に「ジュエリー」「バッグ」「洋服」など高価なものが欲しいのは若いひとたちの傾向である。
 「何もいらない」が圧倒的に多いのは、「ものより気持ち」と解釈していいのか。もし、どうでもいいというのであれば問題である。

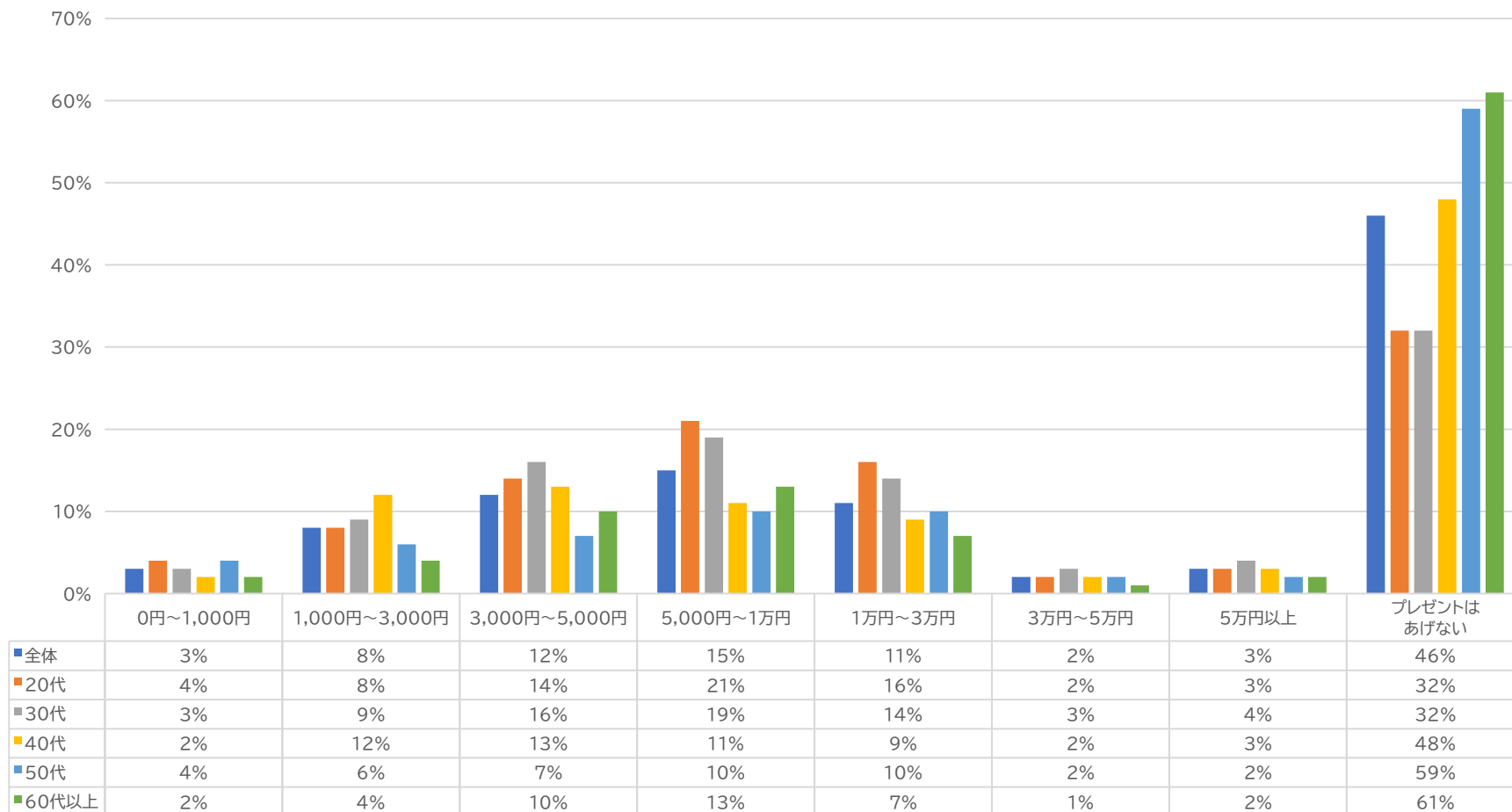


	外食	スイーツ・お菓子	手料理	旅行	ジュエリー・アクセサリー	バッグ・財布	お花	洋服	プレミアムビールなどのお酒	手紙・ハンドメイド	その他	どんなものでも嬉しい	何もいらない
全体	15%	14%	11%	10%	9%	8%	5%	4%	4%	3%	1%	17%	43%
20代	15%	18%	16%	9%	14%	10%	4%	6%	3%	7%	1%	25%	29%
30代	16%	22%	18%	10%	13%	11%	9%	7%	7%	5%	3%	18%	35%
40代	14%	9%	6%	11%	7%	6%	4%	3%	4%	1%	1%	15%	45%
50代	13%	12%	8%	6%	6%	4%	4%	3%	3%	1%	1%	11%	57%
60代以上	15%	7%	7%	13%	4%	7%	6%	3%	3%	2%	0%	17%	49%

8. プレゼント予算 (全数ベース N=1,000 単一回答)

パートナーに贈るプレゼント予算はいくらですか？(お答えは一つ)

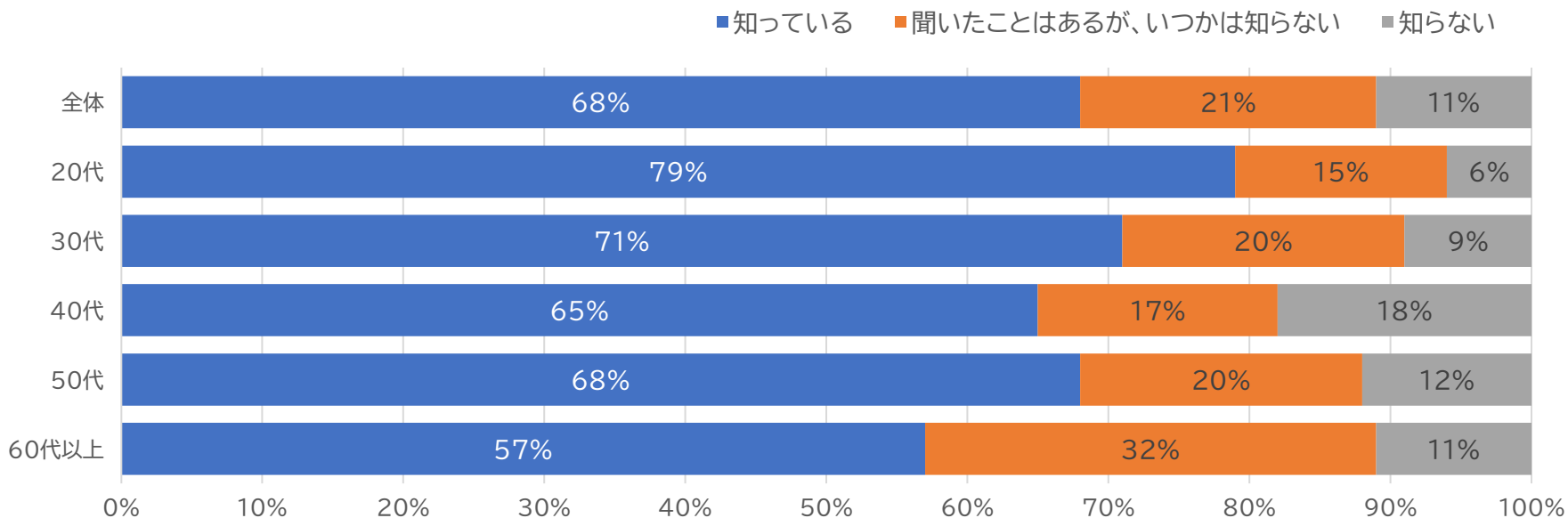
年代別、男女別に大きな特徴はないが、30代・40代でやや廉価な方へ寄っているのは、やはり生活感の表れか。それにしても、「プレゼントはあげない」が半数を占めるのはどうしたものか。日本には古来よりお中元、お歳暮、結納、などの「進物」の文化があり、バレンタインのような「義理〇〇」という独自の楽しみ方もあるというのに…。



9. 「いい夫婦の日」の認知状況 (全数ベース N=1,000 単一回答)

あなたは「いい夫婦の日」をご存じですか？(お答えは一つ)

各種記念日調査でつねにトップクラスの知名度であり、年代的にも偏りがなく、9割近くの人を知っていることが証明された。



	知っている	聞いたことはあるが、いつかは知らない	知らない
全体	68%	21%	11%
20代	79%	15%	6%
30代	71%	20%	9%
40代	65%	17%	18%
50代	68%	20%	12%
60代以上	57%	32%	11%

「いい夫婦の日」の知名度が高いのは、単なる語呂合わせというのがかえって覚えやすかったということだろう。ただし、国民の祝日である「勤労感謝の日」の前日であるということも制定理由の一つであり、「いい夫婦の日」を祝いやすいことも定着した要因である。なお、11月22日は年間を通じて婚姻届けの最も多い日といわれていて、縁起の良い日なので離婚率も非常に低いという都市伝説もある。

いい夫婦の日の過ごし方はコロナ禍ということもあるが、「自宅で過ごす」が一番多く、夫婦というより家族の日という意味合いが強くなっている。ただ、「何もしたくない」が2割を占めるということも考えさせられるが、旅行や外食も相変わらず高く、やはりハレの日として楽しもうとしている人たちが多くいる。また、プレゼントは「何もいらない」が43%もいるが、これは無関心というよりも、モノではなくコトのほうが記念日としての実感があるというように考えたい。

「いい夫婦の日」は、子どもがいれば子どもも交えた一家団欒の時間をつくり、その大切さを再認識し、夫婦の、そして家族の絆をつよくするための記念日であるといえよう。